

# 経営比較分析表（令和3年度決算）

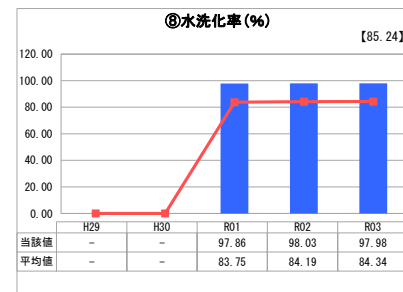
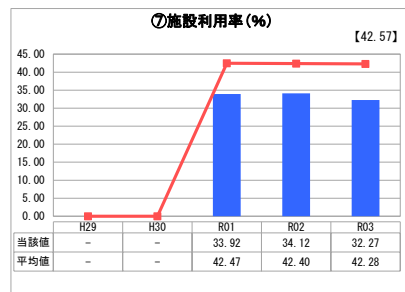
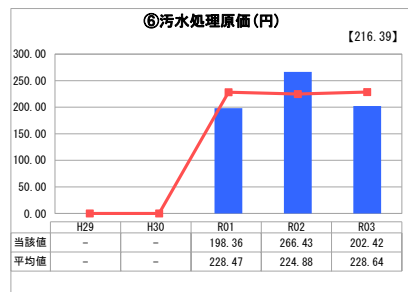
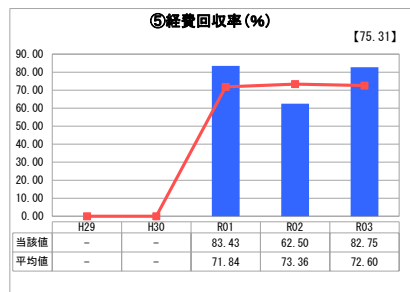
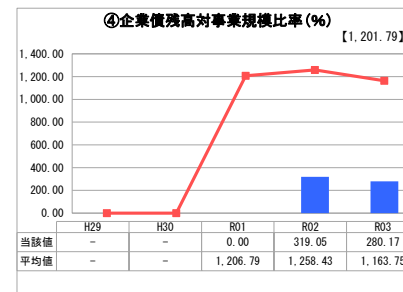
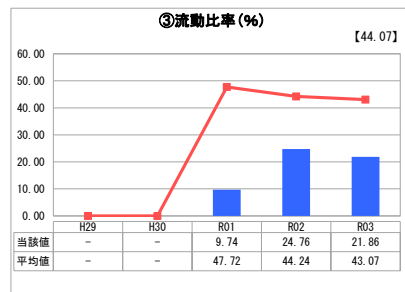
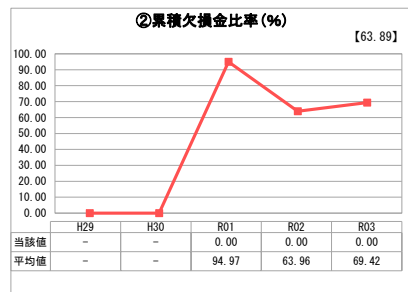
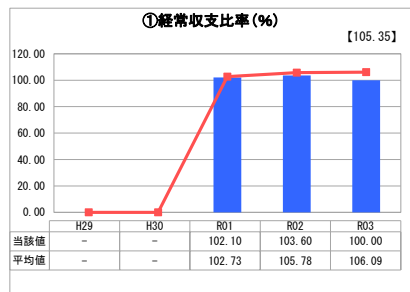
石川県 志賀町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	41.84	6.26	100.13	3,300

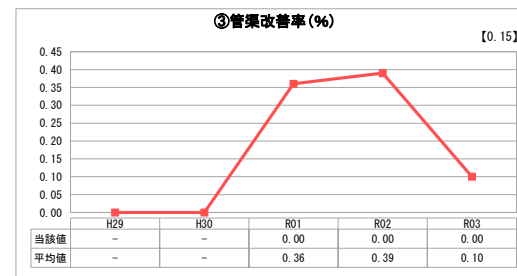
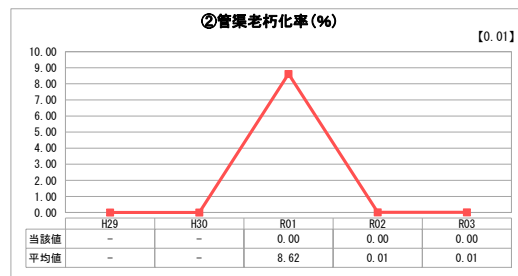
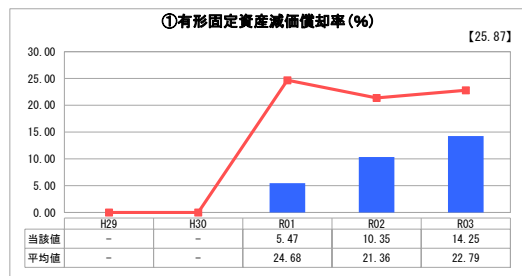
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
19,178	246.76	77.72
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
1,189	0.58	2,050.00

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和3年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率  
指標は100%を示しているが、一般会計からの繰入金に頼る面が大きい。今後も維持管理費等の抑制に努める。

③流動比率・④企業債残高対事業規模比率  
経営戦略に基づき、将来における下水道使用料の見直しに取組み、またストックマネジメント計画により設備の改築・更新を効率的に行い、新規企業債を抑制しながら、単年度における収支バランスを図っていく。

⑤経費回収率  
類似団体平均値との比較では、高い数値で推移しており、前年度比も上昇傾向にある。今後も更なる汚水処理費の削減を図りながら経営改善に努めていく。

⑥汚水処理原価  
類似団体平均値と比較し低い数値となり、前年度比も下降傾向となった。今後も更なる経営安定化のため維持管理費の抑制に努める。

⑦施設利用率  
類似団体平均値と比較し低い数値となっているが、人口減少による有収水量の減によるものと推測される。

⑧水洗化率  
本事業の2処理区については、類似団体平均値を上回っているが、人口減少に伴い、有収水量が年々減少傾向となっている。

### 2. 老朽化の状況について

処理場施設及びマンホールポンプ設備においては、供用開始から耐用年数が経過した処理施設、機械設備等をストックマネジメント計画により、効率的に更新を行っていく。

管渠施設の老朽化については、供用開始から年数が浅いため、指標に表れていないが、将来において計画に基づき、効率的に更新を行っていく。

## 全体総括

特定環境保全公共下水道事業は、整備が完了しており、接続率も高い地域である。しかしながら、人口減少の進行が顕著であり、このことから、今後の有収水量の増加は見込めず、使用料収入の減少は避けられない状況である。

今後、持続した経営の安定化を図るためにも、維持管理コストの抑制が必要不可欠であり、また、施設の統廃合も視野に入れ、効率的・効果的な事業展開を図る必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。